



こもれび

KOMOREBI

MIYAGI UNIVERSITY OF
EDUCATION LIBRARY NEWS

No.127

2015.3.11 発行



特集

ラーニング コモンズ その2

CONTENTS

- 02 図書館インフォメーション
- 04 特集 ラーニングコモンズ その2
- 08 歴史のなかの教科書
- 10 子ムエの本棚
- 14 学生の読書室
- 16 宮教大図書館の裏話
- 平成27年度図書館開館カレンダー





図書館 Library Information

インフォメーション

卒業生のみなさん



ご卒業おめでとうございます

宮城教育大学での学生生活はいかがでしたか。図書館をご活用いただいたのであれば、嬉しく思います。なお、万一、まだ借りている資料がある場合は、3月中の返却をお願いします。

ところで、卒業後も宮教大の図書館を利用できるのは、ご存知ですか。閲覧はもちろん、5冊2週間までの貸し出しもできます。住所が確認できる身分証明書をご持参のうえ、ご来館いただければ「利用証」を発行します。

また、仙台市図書館での資料の貸し出しも行っています。青葉山には来る時間がないという時は仙台市図書館等の各館で宮教大の図書取寄せを依頼することもできます。(2015年6月まで試行)

新入生のみなさん



ご入学おめでとうございます

充実した大学生活をおくるために、まずは図書館の使い方を覚えましょう!

図書館ツアー

- 4月8日(水)、9日(木)、10日(金)
- 各日12:30~12:50、16:20~16:40
- 図書館ツアーに参加して、当日本を借りた先着50名様にプレゼントもあります。

仙台市図書館と連携協力に関する覚書を取り交わしました。

仙台市図書館と、平成26年12月2日付けで連携協力に関する覚書を取り交わしました。相互に資料を貸し借りするほか、イベント共催等も企画する予定です。



スパイラルセッション実施しました。

講師のお話を聞くだけでなく、実際にやってみる体験型のプログラムを展開しました。4月からもうご期待!

- ・ 7月11日(金) 第3回 海外を知ろう! 4 世界の図書館
- ・ 8月 1日(金) 第4回 操作してみよう! 電子黒板 & iTouch模擬授業(オープンキャンパス企画)
- ・ 10月 8日(水) 第5回 電子黒板を使ってみよう! ステージ1(セミナー)
- ・ 10月15日(水) 第6回 電子黒板を使ってみよう! ステージ2(ワークショップ)
- ・ 10月25日(土) 第7回 電子黒板を使ってみよう! ステージ3(プレゼン発表会)
- ・ 11月13日(木) 第8回 紙芝居に挑戦しよう!
- ・ 12月 2日(火) 第9回 紙芝居に挑戦しよう!(練習会)
- ・ 12月12日(金) 第10回 クリスマスカード・ワークショップ

※第5-7回については、p.6~7、第8-9回についてはp.10~13にて詳しくご紹介しています。



第4回



第10回



「歴史のなかの教科書～英文法から英会話重視～」を開催しました

平成26年7月31日～8月25日までの間、附属図書館1F展示ホールで明治時代から現代までの英語教科書を展示し、797名の方が来場しました。日本の発展そして社会や国際関係の変動に影響を受けた英語教育の変遷を解説したパネルを展示したほか、実際に手にとって見ることができる教科書を約500点展示しました。

また、記念講演として、英語教育講座鈴木渉准教授による「英語教育研究は教科書作成に役立っているか？」を開催しました。

さらに、平成26年10月30日～11月2日までの間、名取市教育委員会と名取市図書館との共催で、名取市文化会館でも同教科書展を開催しました。最終日には同じく鈴木渉准教授による「英語は早くからやればいいのか？～最新の研究成果と大人が子どもにできること～」と題した講演会を開催し、英語の早期教育に関心のある来場者で会場が満杯となりました。



男女共同参画推進図書展を開催しました

本学の男女共同参画推進プロジェクトと附属図書館の共催による、男女共同参画推進図書展を、平成26年11月26日～平成27年2月10日までの期間、開催しました。男女共同参画関連図書を多く所蔵している国立女性教育会館女性教育情報センターの協力で、約120点の関連図書を図書館の入口に展示しました。平成26年度後期開講授業「性・文化・ジェンダー」と連動した読書ポイント制度の効果や、当館で所蔵している資料とは少しジャンルが異なることによる新鮮さによって、多くの貸出利用がありました。



「Eメール！：レポート作成初歩の初歩から卒業後まで」を刊行しました

この本は、宮城教育大学で学ぶみなさんを支援することを目的として、平成26年9月に図書館が作成しました。レポートの書き方、教育実習や就職活動に役立つ情報、教育現場で知っておくべき著作権など、在学中はもちろん、卒業してからも役立つ情報を盛り込んだ内容となっています。

希望者には図書館カウンターなどで無償で配付しています。



ラーニング commons その2

平成26年4月にオープンした1階スパイラル・ラボに続き、10月には、ひとりで静かに勉強できるスペースとして、2階に、プライベート・ラボ、シンキングブースをオープンしました。1階はみんなで話し合っ勉強したいときに、2階はひとりでじっくり取り組みたいときに、図書館をぜひご活用ください。

お気に入りの椅子を見つけよう!

シンキングブース

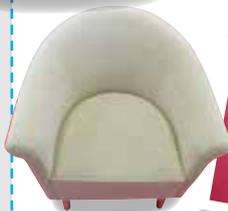
三省堂『新明解国語辞典』の「読書」をコンセプトにしたコーナーです。

ゆったりと窓に向かって配置した8席のソファは全てデザインが異なります。人生を考える読書をぜひ楽しんでください。

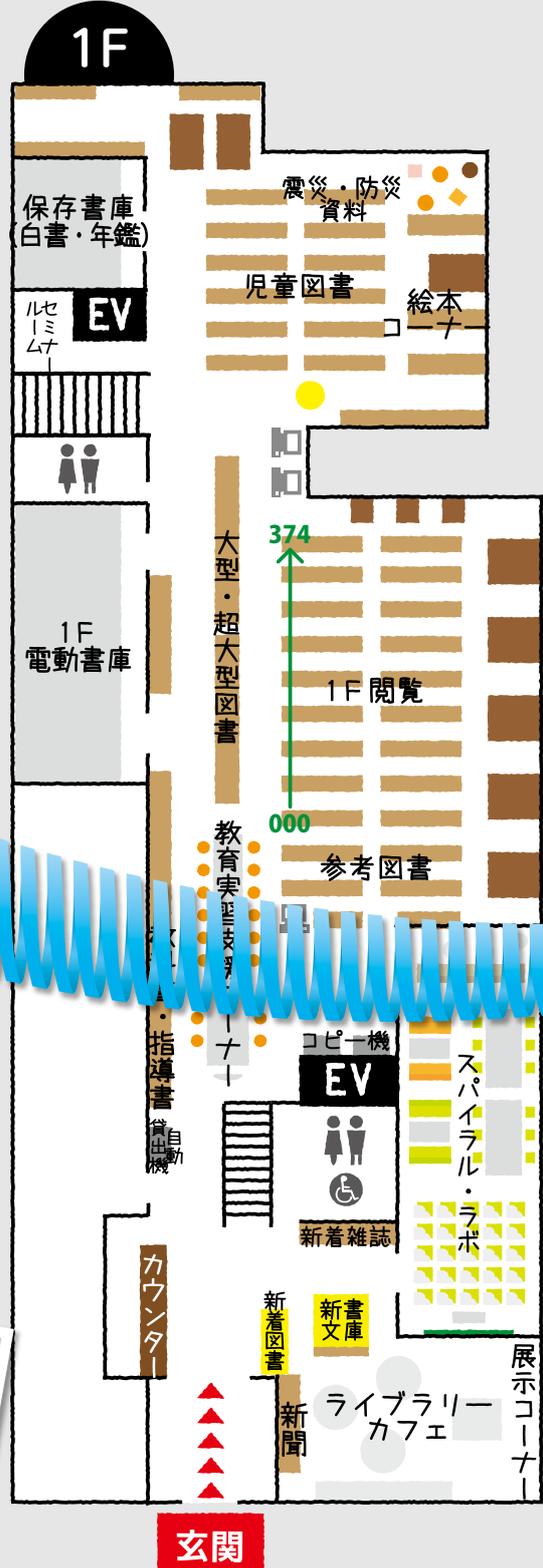


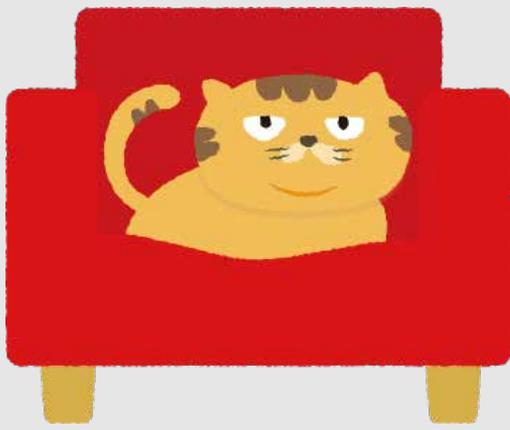
「ひとりで読書」する(ひとりで)「研究調査や受験勉強の知の世界に遊ばせて」一時(ひと)「現実の世界を離れ、精神を未だりする(ひと)「時間の束縛を受ける」こと無(ひと)本を読む(ひと)「百遍義(ひと)自ら見る(ひと)「五(ひと)は、よくし(ひと)」

出典『新明解国語辞典』第七版 三省堂



ひとり席
新しくなり、ライトがつくようになりました。





2F

ベランダ

2 F 電動書庫

EV

2 F 閲覧

910.24

プライベート
ラボ

910.24

2 F 雑誌書庫

楽譜

2 F 閲覧

シン
キン
グ
ブ
ー
ス

2 F

375

ビデオ・DVD
コーナー

EV

教育
実践
資料
室

コ
ピ
ー
機

マルチメディア室

プライベート・ラボ



ひろびろ160cm幅の机15席。
思いっきり資料とPCを広げて勉強
に没頭してください！

集中力アップをサポートする個人的空間！ 「プライベート・ラボ」

初等教育教員養成課程
子ども文化コース3年

広谷 春菜



プライベート・ラボは、レポート作成や、集中して作業したいときなどによく利用します。ミルクティー片手にピンクのVAIOとにらめっこしている人がいたら嬉しい私です。レポートの完成を密やかに応援してあげてください。

このスペースは2階奥のサイレントエリアにあります。ここは、一人ひとりテーブルが

仕切られており、各テーブルに照明がつけられています。

電源タップも各テーブルに届くように設置しており、パソコンを使用する際も便利につくりになっています。"プライベート"というだけあり、個人の空間として集中することができる点が特徴です。サイレントエリアの中にあるので、とても静かな空間です。私は少しでも音があると気が散ってしまうなんて集中力のない人間なので、個人的なスペースをとり、自分の世界に入り込むことのできるこのスペースはありがたいです。ゼミの資料もフランス語の単位も、ここのおかげで作り上げられたようなものです。お世話になっています。

3コマ終わりから放課後まであたりが、一番賑わう時間帯のようで、15ある席が全て埋まってしまうこともあります。宮教大は教採を受ける人がほとんどなので、教採講座の前に勉強している人が多く見られます。勉強する場としても、広く活用されているようです。

また、プライベート・ラボの良い点は、ひとつひとつの机が大きいこと。よくぞこの机を採用してくれた！というぴったり具合です。というのも、私はレポートや指導案を書く際、参考にしたい資料たちを机いっぱい広げて書きたいタイプで、この机はそれが十分にできるほどの広さだからです。しかもきちんと区切りがしてあるから、隣の人を気にする必要もなく便利！

教採など各種試験の勉強をする際、同じように参考書を広げたい人は多いと思うので、そういった方々にこのスペースはおすすめです。図書館とえば、入り口のスパイラル・ラボや、閲覧室の大きな机で作業、というのがメジャーですが、個人的に集中して取り組みたいという方は、このプライベート・ラボを使用してみたいはいかがでしょうか。2階の一番奥にあるので、穴場とえば穴場なスペースです。皆でどんどん活用していきましょう。

私もこれから卒論等でますますお世話になると思います。ピンクのVAIOを見たら応援を！



電子黒板 コンテスト

Interactive Whiteboard Contest



電子黒板イベント

平成26年4月オープンのスパイラル・ラボ。目玉の一つは、電子黒板です。
この活用に向けスパイラル・セッション5-7回は、「電子黒板を使ってみよう!」(セミナー、ワークショップ、コンテストの3回構成)を開催しました。電子黒板を全く使ったことがなかったみなさんが、3回目には、審査員の先生たちの前でオリジナルのプレゼンができるほど電子黒板を使いこなしていました。

参加して下さった教職大学院の
“ささけん先生”(右)と当日のイベントを
仕切ってくれた謎の司会者



いつもスパイラル・ラボでミーティングを繰り返して
いる野球部からはマネージャーさんが登場して、
綿密なミーティングの内容を披露!



見事優勝した安藤研究室チームに
見上学長から豪華賞品が手渡されました!



今回の企画に最初から参加してくれた阿部くんは、コンテスト
参加者としてもエントリーしてくれました!
菅原くんと安達さんも企画のサポートをありがとうございました!

様々な可能性を実感「電子黒板」

中等教育教員養成課程
数学教育専攻2年 阿部 勇大

電子黒板を用いたプレゼンを行う企画を持ちかけられたときは、正直電子黒板をただのプロジェクター程度のものでしか考えておらず、普段行うようなプレゼンと大して変わらないことしかできないのではないかと、すこし疑問を持っていました。

しかし、実際にスパイラル・ラボの電子黒板を触ってみると、自分の想像を遥かに超える様々な機能を備えていたため、「これを使ったら見る人も面白いだろう。」と想像するだけでとても面白かったです。

当日は、私が幼稚園の頃から続いていた「エレクtoon」の魅力について、をプレゼンしました。電子黒板には、線で丸く囲むとスポットライトが当たったり、四角く囲むとズーム出来る機能が備わっているので、それらの機能を十分に発揮するために画像を多く取り入れたプレゼンを作ることを心掛けました。ただ話すだけでなく体を動かしながら行うという新たなプレゼンの形を体験し、電子黒板の様々な可能性を実感できました。

電子黒板は様々な教育現場、また既に教育実習でも使われていて、私も来年度の教育実習で使う場面が出てくるかもしれません。まして、教員になってからは、ほぼ毎時間当然のように使うこととなるでしょう。

現在私はSTEPという教員志望のためのサークルで、模擬授業とその検討会を行っています。そこでは授業の組み立てと電子黒板などのICTの有効活用について模索をしています。模擬授業を通して将来のために今のうちから電子黒板に慣れておくということも重要ですが、まずは電子黒板がこんなにもすごいのかということを実感するためにも、より多くの学生に実際に触ってもらえたらと思います。

第5～7回 図書館スパイラルセッション

電子黒板を 使ってみよう!

in 図書館 スパイラル・ラボ

ステージ1 電子黒板ってどんなもの?
電子黒板メーカーさんに、電子黒板の使い方を聞いてみよう。
講師：株式会社 サカフ
10月8日(水) 13:00～14:30
当日参加OK!

ステージ2 電子黒板を効果的に使ったプレゼンを考えよう
コンテストに向けて、電子黒板を使った5分のプレゼンを考えよう。
どんなことをどんな風にやってみたらうまく伝わるか考えよう。
講師：本学学部生
10月15日(水) 13:00～14:30
10/14まで受付中!
サークル・個人・グループでエントリーお待ちしております!

ステージ3 電子黒板でコンテスト
2回のステージで習得したテクニックを使って、5分までのプレゼンを製作、発表しよう!
(製作してほしいプレゼン：サークル紹介・旅日記・模擬授業など)
10月25日(土) 16:30～17:15
観覧自由!
豪華景品ありです!

主催/宮城教育大学附属図書館
共催/宮城教育大生協学生委員会(通称:Team-Artist)
教員を目指す東北の学生ネットワーク STEP
お問合せ先/宮城教育大学附属図書館 情報サービス係 TEL:022-214-3350

1階セミナールームの 机が新しくなりました。

少人数でも、多人数でも利用しやすくなりました。折りたたみも簡単でコンパクトにまとまるので、壁面に設置してある鏡を使っでの活動もしやすくなります。



各施設の予約方法

展示ホール、スパイラル・ラボ、セミナールーム、教育実践資料室は、事前に予約して利用できます。作品発表、模擬授業、サークルの打ち合わせ等にご活用ください。お申込は図書館カウンターまで。予約状況は、以下のページで確認できます。

宮教図書館 りざぶ郎

検索



日本人にとって英語とは

英語教育講座 鈴木 渉

日本人にとっての英語学習は、文化5(1808)年の長崎フェートン号事件、嘉永6(1853)年のペリーの浦賀沖への来航、嘉永7(1854)年の日米和親条約と安政5(1858)年の日米通商条約の締結、明治元(1868)年の明治維新等を経て、熱を帯びてきたと言われています。当時の日本が、イギリスやアメリカをはじめとする欧米諸国の文化を取り入れ、一日でも早く追いつき、富国強兵に努めなければならなかったことを考えれば、日本人が英語学習に夢中になったのは想像に難くないでしょう。

しかし、明治27(1894)年の日清戦争や明治37(1904)年の日露戦争の勝利を経て、大正3(1914)年の第一次世界大戦の参加、1920年代にはアメリカとの関係の悪化、昭和8(1933)年には国際連盟から脱退、昭和16(1941)年には太平洋戦争に突入という時期になると、英語は敵国語となり、英語ブームが一段落するようです。特に戦時下の英語教師にとっては、この頃が受難の時代だったことは容易に想像できるでしょう。

太平洋戦争後は、一日も早く敗戦から立ち直り、欧米諸国に追いつこうと、英語ブームが再び訪れます。中学生全員が英語を学習するようになるのもこのころだと言われており、英語は一部のエリートのものだけではありませんでした。また、戦中・戦後は日本人の海外旅行が厳しく規制されていましたが、昭和39(1964)年に海外旅行が自由化されたことも、ブームに拍車をかけたことでしょう。

高度経済成長以降、経済大国になった日本は欧米から学ぶことはないというような意見もありましたが、現在でも経済界を中心に「役に立つ英語」の必要性が叫ばれるようになってきました。いわゆる、知的訓練や教養としての英語ではなく、コミュニケーションのための英語が求められているのです。平成25(2013)年12月13日に、「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が発表され、小学校で行われている外国語活動の教科化、中学校でも高等学校と同様に「英語で授業」を基本とするなどの提言が文部科学省から出されたのも記憶に新しいところです。社会のグローバル化に対応して、国民一人一人が英語を用いたコミュニケーションができるように望まれているのです。

英語の教科書の歴史を振り返ることで、日本の英語教育が、時代や社会の変化や英語教育学研究の成果に応じて、どのように変わってきたのか、特に、文法中心の学習活動からコミュニケーション中心の言語活動へと日本の英語教育が変わっていく様子を感じ取ることができます。また、当時の日本がどのような国民を育成しようと試みてきたのかということにまで、思いを巡らすことができるかもしれません。更に言えば、英語の教科書の歴史は、日本の英語教育の将来を考える際の羅針盤のような役目を果たしてくれるのかもしれません。



1 『New National Readers』

A.S. Barnes & Company 明治16(1883)年発行

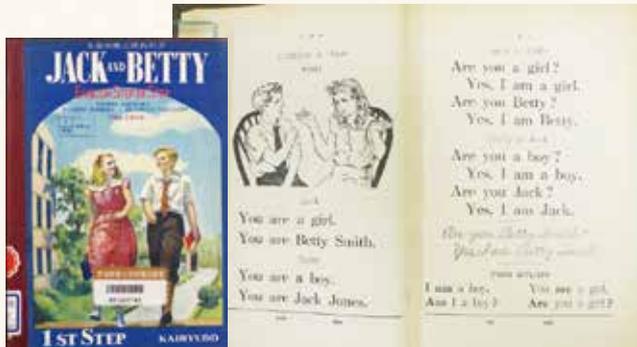
明治初期の英語教科書は、外国の小学生用国語教科書を輸入して使っていた。そのため、外国の家庭生活や田園風景や動物が話題としてよく出てくる。初めて英語を学ぶ日本人用教科書として扱うには困難であったことが想像に難くない。



2 『The Mombusho Conversational Readers』

Imperial Dept. of Education 明治22(1889)年発行

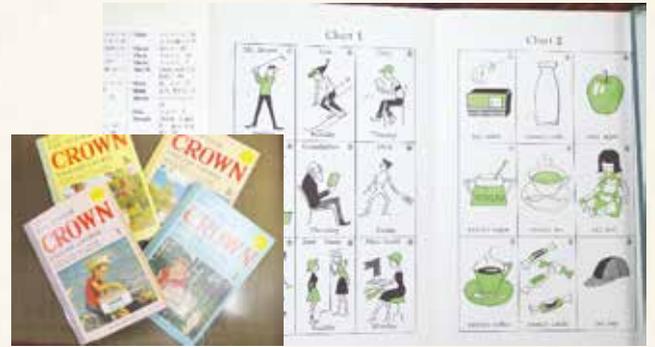
輸入教科書ではなく、日本人にとって理想の教科書を作ろうという考えに基づいた最初の教科書だと言われている。文法事項を順序立てて配列し、それを徹底的に反復学習させるという意図を持って作成されている。



3 『Jack and Betty: English Step by Step, 1st Step』

開隆堂 昭和23(1948)年検定

当時最も採用された教科書である。アメリカの中産階級の家庭生活や学校生活を題材としている。口頭表現中心の構成で、脚注に新出語句が出ているほか、本文の上にJack, Betty, Jack to Betty, Betty to Jackのよう



4 『The Junior Crown: English Course 1 Revised ed.』

William L. Clark 三省堂 昭和40(1965)年検定

日本が高度経済成長期にあった時の英語教科書である。敗戦から続く欧米一辺倒の内容から脱却し、日本をはじめ諸外国の話題も盛り込まれるようになった。Have you~?がDo you have~?のアメリカ式に変化することも特徴的である。巻末の付随資料は、折込式チャートの先駆けである。



5 『New Horizon: English Course, 2』

笠島準一ほか 東京書籍 平成17(2005)年検定

海外への修学旅行、ALTや留学生との会話、インターネットによる情報収集などの場面を設定し、実際のコミュニケーションを目的として、英語を使えるようにするという意図で作成されている。



6 『Hi, friends!』

東京書籍 平成24(2012)年発行

平成23年度から小学校における外国語活動が5、6年生を対象に必修化された。年間35時間が確保され、デジタル版教科書も発行された。英語の免許状を取得してこなかった小学校教諭にとっても重要な教材となっている。

子ムエの本棚



子ムエの本棚は、児童書に関する話題をお届けするコーナーです。今回は、平成26年度第8回スパイラル・セッション「紙芝居実践講座」と、その成果をふまえた附属小学校での実演について、講座に参加した学生のみなさんから報告していただきます。また、附属小学校の子どもたちからの感想と、ご指導くださった横田重俊先生から紙芝居文化についての寄稿もあります。

紙芝居を演じてみよう!

その1

理論編：紙芝居誌上講座 ～極意をつかんで名役者～

平成26年11月13日、第8回図書館スパイラル・セッションとして、「絵本と木のおもちゃ 横田や」の横田重俊さんをお迎えして、紙芝居実践講座「極意をつかめ! 紙芝居」が開催されました。

親しみやすい笑顔と魅力ある語り口で、紙芝居の変遷史や紙芝居の構造などをお話しして下さるとともに、実践もしてくださり、どっぴり引き込まれてしまった1時間半でした。参加者は本学の学生等約80名で、通常は肌寒い教室が、熱気にあふれました。講義の概要は以下の通りです。

特別支援教育教員養成課程 聴覚・言語障害教育コース 4年大槻 桃子



講師
横田 重俊氏
「絵本と木のおもちゃ 横田や」店主

1 紙芝居の歴史

はじめに、横田さんは、紙芝居の歴史を私たちに語って下さいました。

私たちにとってなじみの深い、現在の紙芝居になるまでに、「覗きからくり」「写し絵」「立絵芝居」「平絵芝居」などさまざまな変遷があったそうです。紙芝居が「芝居」であること、また、「読む」のではなく「演じる」ものであることがよく分かりました。

昭和初期には、自転車子どもたちにお菓子を売って紙芝居を読んで聞かせる「紙芝居屋さん」が多くいました。東京には紙芝居の貸出しを行なう「貸元」が約100軒もあったそうです。

「貸元」が貸出しを行っていた紙芝居は「街頭紙芝居」とよばれ、作家の手描き「1点もの」で、1タイトル何十巻も連続しているものがほとんどです。作った作家本人も前のストーリーを忘れてしまって一度死んだ人間が再登場した、なんていうエピソードもあるとか。

次の展開が気になって子どもたちは毎週紙芝居屋さんに通ったそうです。

それほど人気があった街頭紙芝居ですが、テレビが普及するにつれ人々の関心は徐々に紙芝居から離れ、紙芝居屋さんもその姿を消していきます。

仙台の紙芝居屋さんで最後の一人となったのが井上藤吉さんでした。井上さんの所蔵していた紙芝居約5,000点は、現在宮城県図書館に「井上コレクション」(登録有形文化財)として所蔵されています。

2 紙芝居の構造

娯楽志向の強い「街頭紙芝居」の内容が過激になっていく一方、教育の効果を高めるための「教育紙芝居」が登場します。現在見られる紙芝居のほとんどがこの教育紙芝居です。

1巻で完結するものがほとんどで、枚数は8枚か、12枚、16枚です。枚数が多くなるにつれて対象年齢が高くなります。

紙芝居をいれる、扉付きの茶色い箱を「舞台」といいます。絵の裏面は、文章のみならず、「ゆっくり語る」「こわそうに」等の「演出ノート」が記載されています。また、文章の間に「ぬきながらー」「半分までぬくー」等の指示があるのも紙芝居の特徴です。

「紙芝居は、ひとつの舞台であり、観客とともに作りあげていく芝居である。」「読み手は役者である。」横田さんのこの言葉がとて印象的でした。紙芝居の内容が面白くても、それを演じる「役者」が練習不足だったり、役になりきるのを恥ずかしがってしまったり、すてきな紙芝居とは言えません。そのような点では、紙芝居と演劇は非常に似ていると思いました。

3 紙芝居を演じる

横田さんは全部で6冊の紙芝居を私たちに演じて下さいました。感想は次の通りです。

「指のない男」1, 2巻:これは今では見ることが難しい街頭紙芝居です。おどろおどろしいタッチで描かれた絵と、横田さんの重々しい口調で、大迫力の紙芝居でした。続きはどうなるのだろうと、怖くてたまらないのに、目が離せませんでした。

「おおきくおおきくおおきなあれ」: 仕掛け絵本のような紙芝居で、横田さんの指が次のページを繰るのをつい目で追ってしまいました。

「これはりんご」: はじめは、普通のしりとりが続いていくのかなあと感じていましたが、最終的には早口言葉のようになっていて、これこそまさに役者の力が試されるものだなあと感じました。

「かっぱのすもう」: よく知られているお話ではあるものの、絵本で読んだ時と紙芝居で読み聞かせてもらったときとは、なんだか印象が違いました。紙芝居特有の見せ方、ゆらしたりするなどの技術が随所で活かしているお話でした。

「おねぼうなじゃがいもさん」: 独特で個性的な、ちょっと気持ち悪い野菜たちのシュールな、しかし心温まるストーリーを、横田さんがやわらかな声で読み上げてくださったので、いまでもまだ心に残っています。あのにんじんとじゃがいもとたまねぎのバランスの悪さには、受講者みんなつつい笑みがこぼれてしまっていたようでした。

まとめ

今回、紙芝居について横田さんから貴重なお話をたくさん聞くことができ、非常に勉強になりました。紙芝居は、1人で何役もこなすストーリーを展開させていくということで、大変ではあるけれど、やりがいのあるものだということがよくわかりました。

また、横田さんの動作、声の作り方、紙を繰るスピードなどを見ると、個々の作品にそれぞれ魂をこめていのだと実感しました。

ストーリーを味わうとなったとき、みなさんはどのような方法で楽しむのでしょうか。1人で読書するのもとても楽しいですし、みんなで大きな本を囲んでも楽しいです。今回、横田さんに紙芝居を聞かせていただいて、紙芝居で「役者」とやりとりをしたり、周りの人とその世界を共有したりすることの楽しさを体感して、とても魅力的なストーリーの味わい方なのだなと感じました。

今回講義してくださった横田さんへの感謝の言葉で文を締めたいと思います。本当にありがとうございました。



おおきく
おおきく
おおきくなあれ

まついのりこ脚本・画
童心社 ISBN:4494074985



これはりんご

中川ひろたか脚本; 和歌山静子絵;
酒井京子編集
童心社 ISBN:4494087602



かっぱのすもう

渋谷勲脚本; 梅田俊作画
童心社 ISBN: 9784494077700



おねぼうな
じゃがいもさん

村山鑰子原作; 村山知義脚本・画
童心社 ISBN: 9784494075980

児童書この一冊! 図書館の児童書の中から、新しく入った新刊本やおすすめの一冊を紹介します。

『ニガウリ(ゴーヤー)の絵本 (そだててあそぼう:51)』

ふじえだくにみつ, なかやまみずへん, つちはしとしこえ
農山漁村文化協会 2003年 ISBN 9784540022364
資料番号 J6/ソ/1-51 資料ID 14102352

Pick up!

皆さんすっかりおなじみの宮教大図書館のグリーンカーテン。日差しを遮って暑さを和らげてくれるだけでなく、見た目も涼しげで、収穫物も楽しめるグリーンカーテンの定番と言えばニガウリ(ゴーヤー)ですね。この本は栽培の仕方や調理法はもちろん、ゴーヤーの歴史やその他の利用法まで、詳しく、わかりやすく教えてくれます。あなたも育てて、さわやかな苦さを味わってみては!



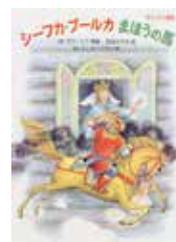
『シーフカ・ブルカまほうの馬 (世界傑作絵本シリーズロシアの絵本)』

M. プラトフ(著), B. ディオドロフ(イラスト),
福音館書店 1997年 ISBN 4834025322
資料番号J93/シ/15 資料ID 97101720

Pick up!

末息子イワンは、みんなから“イワンのばか”とよばれ兄たちから馬鹿にされていました。ある時イワンは夜中に畑をあらしにきた魔法の馬、シーフカ・ブルカをつかまえます。魔法で立派な若者に変身したイワンは、宮殿に向かいますが…。

主人公の秘密にわくわくし、またロシアの民族衣装や建物などの美しい描写に目を奪われる絵本です。





その2 実践編：紙芝居実演 ～子どもたちと一緒に演じよう～

平成26年12月19日、誌上講座の受講生のうち4名が、宮城教育大学附属小学校(2年3組)の子どもたちの前で紙芝居の実演をしてきました。紙芝居講座の講師である横田さんにも、手遊びや絵本の読み聞かせを披露していただきました。

さかさのまほうつかい(童心社のかみしばい)

井出村由江脚本；中根明貴子画 童心社 ISBN 4494087394

子ども文化コース1年 小室 好

今までストーリーテリングや読み聞かせなどには取り組んだことがありましたが、紙芝居はそれらとは違った難しさや楽しさがありました。横田さんからいただいたアドバイスは私にとって新しい発見となりました。紙芝居について1番印象的だったのは「演じる」ということについてです。物語を「届ける」ストーリーテリングとは違い、一言ひとことに場面の状態や登場人物の気持ちを声色やスピードなどで表現するというのが難しくもあり、楽しくもありました。演じる人の物語の捉え方や演じる場の違いでも物語が少しずつ変わるのが紙芝居の面白いところなのではないかと思いました。

附属小学校での発表は子ども達の反応や顔を見ながら、自分のやってきたことを出し切ることができました。楽しそうにまっすぐに紙芝居を見る子ども達を見て、こちらも嬉しくなると同時に、達成感を得ることができました。

このような体験をさせていただき、大変嬉しく思います。今回は参加型の紙芝居を選択したので、物語にも挑戦したいと思っています。



おとうさん:スマトラの民話より(紙芝居ベストセレクション:第1集)

与田準一脚本；田畑精一画 童心社 ISBN 9784494075959

子ども文化コース4年 佐藤 紘菜

「紙芝居って面白い」と、横田さんの紙芝居に一瞬のうちに惹かれ、この実演に参加しました。お話は、「マンガラングリーンベクー」という、愉快な名前の主人公が登場する、スマトラ島の民話「おとうさん」を選びました。けれども、いざ自分で挑戦してみると、「読み聞かせ」とも、お話の「語り」とも違う、紙芝居を「演じる」ことの難しさに悩みました。それでも、夢中になって私たちの紙芝居を楽しんでくれた附属小学校の子どもたちの顔を見られたことは、大きな喜びと、今後の糧になりました。きっと、横田さんのような人を惹きつけるあの声、言葉は、練習はもちろん、たくさん生活体験や、子どもたちとの関わりを重ねてきたからこそ生まれてくるのだな、と思います。

私も、数年先、数十年先、子どもたちに大きな楽しみを与えられる人間になりたいです。最後に、このような貴重な機会を与えてくださった図書館および附属小学校の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



おじいさんとおばけ

堀尾青史著；瀬名恵子画 童心社 ISBN 9784494074525

国語コース4年 藤田 穂乃香

私は今回、「おじいさんとおばけ」という紙芝居を演じました。このお話は画面の抜き方が面白く、おばけのばあ〜！という登場シーンで子どもたちを驚かせられたら楽しいのではないかと思います、選びました。今回、紙芝居を演じてみた中で、登場人物の声色を変えること、話の展開に緩急をつけることがとても難しく、紙芝居の奥深さを痛感しました。特に「おじいさんとおばけ」は会話のみで展開されていくため、登場人物を演じ分けるのが本当に大変でした。練習にあたっては、原作の落語を何度も聞いたり、みんなで集まって練習会を開いて見せ合ったりなど、何度も何度も練習を重ねました。

本番はとても緊張しましたが、子どもたちのつぶやきや笑いなど、反応が返ってくるのがとても嬉しく、私自身も楽しみながら演じることができました。たくさん練習が必要な分、紙芝居はやりがいがあるものだと思います。次またこのような機会があれば、是非たくさんの方に挑戦してみしてほしいなと思いました。貴重な機会をありがとうございました。



うりこひめとあまのじゃく

松谷みよ子脚本；梶山俊夫画 童心社 ISBN 4494074098

教育心理学コース3年 菅 晶穂

私が横田さんの講義を受けるのは、今回で2度目でした。前回、そしてやはり今回も感じたのは横田さんの「聞き手を引き付ける力」でした。

「附属小のおはなし会」と聞き、楽しそうだという理由だけで参加することを決めました。いざ紙芝居の練習を始めようとしたときに、私はこれまでにきちんと紙芝居を演じたことがないことに気が付いたのでした。練習を始めた頃にはうまく紙芝居を「演じる」ということができませんでした。何度も読み込み、繰り返し練習会でアドバイスをもらい、先輩方の演じる様子を見る中で、少しずつ紙芝居の世界に入り込むことができるようになりました。

おはなし会で見ることができた子どもたちの豊かな表情から、子どもとおはなしを共有する楽しさを改めて感じました。今回の体験は私の自信となりました。これからも実践を通して「聞き手を引き付ける力」の謎を探ってきたいと思います。





宮城教育大学附属小学校
2年3組の子どもたちから

きのうは数え歌や手遊びをおしえてくれてありがとうございました。
「うえきばちです」という絵本がおもしろかったです。つづきが気になりました。
あざあざ北山からありがとうございました。
また来てください。

青田 直子

本を読んでもくれたり、手遊びをおしえてくれたりして、ありがとうございました。
ぼくは、家に帰ったら、母に、教えてもらった手遊びを教えました。
楽しかったのでまた来てください。

菊地 遼生

紙芝居をたくさん読んでくれて、ありがとうございました。
全部、一番おもしろい本でした。またちがうところで見たいと思います。ぜひ、また来てください。昨日はありがとうございました。

土屋 環

忙しい中、附属小学校にあざあざ来てくださってありがとうございました。特に「おとうさんになりたいよう」というセリフがおもしろかったです。また先生の先生になったり、紙芝居とか絵本とかを持ってきてたりして、また読んでください。本当にありがとうございました。

内藤 綾菜

手遊び歌をおしえてくれてありがとうございました。すごくおもしろい手遊びうたでした。こあい本とこあい紙芝居、おもしろい紙芝居をいっぱいよんでくれてありがとうございました。すごくおもしろかったです。また紙芝居を読みに来てください。

米本 小雪



最後に、今回実演会にご協力くださいました附属小学校の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

特別寄稿

「紙芝居」に思うことを・・・ 横田 重俊

「児童文化財」ってなあに?と言われる時代になってきている。子どもに関わる文化活動に使われてきた、物や行為の総体の名称である。「絵本」「お話」「わらべうた」「人形劇」「童謡」「パネルシアター」などの個別名称は盛んに使われているが、それらが、「児童文化」活動の一端を担っているとの認識は薄くなり、単に子どもが「喜ぶ」「楽しむ」ツールと思われがちである。

子どもの側からいえば、楽しければいいのだが、行う側もそれだけでいいのだろうか?突き詰めていくと「子どもにとっての文化とは何か」までいかなければならないのでそれはまたの機会にする。さて、本題の「紙芝居」に思うことを…。

現在、広く行われている「紙芝居(正確に言えば教育紙芝居)」の元となっている「街頭紙芝居」は、それをリアルで楽しんだひとがすくなくなってきた為か、「教育紙芝居」が良質で「街頭紙芝居」は質が良くない、との風潮が一部にある。

かつて、漫画にも良い漫画と悪い漫画の区別をつけたがる人たちがいた。作品の質で論ずるのではなく、子どもに与えて良いか悪いかを論ずるといふナンセンスなものだった。同じ道を紙芝居が歩んでいるように思えてならない。

江戸時代からの「写し絵」に始まり「立絵芝居」→「平絵芝居」→「紙芝居(街頭紙芝居)」と紙芝居の歴史を見ていけば、伝えられてきた「紙芝居の文化」を支えていたのは、職業としてのプロたちであった。それを、単に「教育」のフィルターで、子どもにとって良い悪いを論ずるのはおかしい。「文化」とはもっと深いところから流れてきたものだと思う。

「本」に関して以前から、本は「文化」なのか「商品」なのかが問題になっている。売れなければ成り立たないが、ただ、売れる売れないで良いのだろうか、という問いかけ。

ごく最近では、「ヘイトスピーチ」本が数多く出版されていることが問題になっている。大人の本ですらこうなのだから、子どもたちに与えられる本・絵本・紙芝居ではより深く見る必要があるだろう。商品ではあるが、文化という役割を持たされているのだから。

最後に、紙芝居を演じる人は、一般の「芝居」や「落語」「講談」「浪曲」などの話芸などにも接してほしい。



第21回

My Favorite Books

学生の読書室

私が選ぶ
この一冊

今回の学生の読書室は、「読書ポイント」との連動企画。読書ポイントに積極的に参加いただいているみなさんから、今年の「いちおし」をうかがいました。

「Live Rally(らいぶらりー) 本でつながる心のやりとり」をキャッチフレーズに、7月1日から、読書ポイントを実施しています。平成21年から始まった読書ポイントも今回で第4期。図書を1冊返却して1ポイント。ポイントをためて、グッズと交換という今までの仕組みに加え、今回は、感想のコメントを書くとともに1ポイントとしました。

感想コメントは大好評で、1月末までに200件近いコメントをいただきました。館内に掲示してあるものはよく読まれています。コメントは掲示のほか、「ブログ」サービスに登録し、ツイッターでも配信されています。



ブログ 宮教大の本棚 <http://booklog.jp/users/muelibrary>



私が選ぶ
この一冊

『桃園の誓い』(『三国志』シリーズ1巻)

[小前亮 著, 理論社, 2009年]

『鼻行類:新しく発見された哺乳類の構造と生活』

[ハラルト・シュテンプケ,ゲロルフ・シュタイナー 著, 思泉社, 1987年]

大学院教育学研究科 教科教育専攻
理科教育専修 2年

橋本 健一



私は元々、本を沢山読む方ではない。しかしながら、図書館に通って本を借り続けられたのは、図書館ならではの魅力があるように感じられるからである。私が図書館で本を借りる際の選び方は、2種類に大別される。1つめは、既に読んだことのある内容で著者が違っている本である。私は特に『三国志』を頻りに読むが、著者によって取捨選択される逸話が違って面白。附属図書館の児童図書にある『三国志』は特に平易で読みやすく、比較の起点には持って来いなのでぜひ手にとってもらいたい。2つめは、図書館を気ままに歩いて、ふと気になって手にとった本である。CDのジャケットがいならぬ、本のジャケットだ。本に囲まれる空間そのものが良い気晴らしになるし、思わぬ掘り出し物に出会う可能性もある。一見、真面目に見える本でも、借りてみると自分の予想を全く裏切ってくれることもある。特に鼻行類に関する専門書がオススメなので、まずは手に取って読んでほしい。

原稿大募集

「こもれび:宮城教育大学附属図書館ニュース」は皆さんの投稿で成り立っています。特に「学生の読書室」は、学生の皆さんにお薦めの本を紹介してもらうコーナーです。読後の感想や想いをこの場で表現してみましょう。

下記の必要事項を記入の上、Eメールに文書を添付してお送りください。いつでも原稿募集中。ご投稿お待ちしております。

必要
事項

- コース・専攻、学年、お名前、連絡先
- 紹介したい本のタイトルとその著者名、出版社、ISBN
- 紹介文(400字程度)

提出
方法

- 次のメールアドレスあてに提出してください。
toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

注意
事項

- こもれび次号は7月発行です。 原稿は、こもれび編集委員会で選定の上、掲載します。
- 採用された原稿は図書館ホームページにも掲載されます。



『りんごかもしれない』

〔ヨシダシンスケ 作、ブロンズ新社、2013年〕

特別支援教育教員養成課程
聴覚・言語障害教育コース 2年 遠藤 美和



大学生になり、読書好きだった私も今やスマホ中心の生活を送るようになりました。それでも定期的に本を借りる習慣は途絶えていません。その大きな理由が「読書ポイント」。グッズ目当てというよりは、カードが判子で埋まっていくことが楽しくて、図書館に通っています。また、本のコメントを書くことが、読書の質を高めてくれます。限られた字数の中で、いかに本のよさを伝えられるか、そのために必要な言葉は何だろうか。それを考えながら読むのですから。

さて、宮教で読んだ一押し本ということで、私が紹介するのは「りんごかもしれない」です。ある日主人公の男の子が学校から帰ると、机の上りんごが置いてありました。彼は思うのです「これは、りんごじゃないかもしれない」と。これって凄いですよね。私は今まで生きてきて、りんごを疑ったことなんてありません。少年は、その素朴な疑問から、目の前のりんごについて様々な仮定を立て、想像を広げていきます。思わず「そうきたか！」と言いたくなる彼の頭の中を、貴方も覗いてみませんか。そして、目の前のものに疑問を持ってみてはいかがでしょうか。「これは、紙じゃないかもしれない」。



『三省堂国語辞典のひみつ』

〔飯間浩明 著、三省堂、2014年〕

中等教育教員養成課程
国語教育専攻 1年 森 なつ美



読書ポイントは物欲と読書欲を結び付けた、画期的な企画です。グッズも学生の需要に合ったもので、コメントで本をおすすめされ、背中を押された私はニンジンをつぶら下げられた馬のよう。

読書ポイントのためにたくさんの本を借りた中で一番興味深く、ぜひ紹介したいのは「三省堂国語辞典」編集委員、つまり国語辞典に載せる言葉とその解説を考えた方がその辞典について熱く語った本です。辞書を選ぶとき、「国語辞典なんて、どれを選んでも同じだろう」と思ってしまう方に特におすすめします。三省堂は現代日本語を取り上げた辞典と、著者が本書中で自負しているように、今私たちが使っている言葉が多く取り上げられています。例えば笑いを意味する「W」や、「ガン見」「中の人」、度々誤用の例に挙げられる「全然」「汚名挽回」など、読んでいて親近感を感じる語ばかり。

辞典に興味はあるものの、小難しい内容に目が上滑りしてしまうあなたに贈る、ちょっとした言葉の小ネタ集です。



『くちびるに歌を』

〔中田永一 著、小学館、2011年〕

初等教育教員養成課程
教育心理学コース 2年 櫻庭 真弓



私がおすすめしたい一冊は、中田永一さんの『くちびるに歌を』です。長崎県の五島に赴任してきた臨時の音楽教師、柏木先生と合唱部の生徒たちがNHK全国学校音楽コンクール(通称Nコン)を目指す物語です。Nコンの課題曲「手紙～拝啓十五の君へ～」にちなんで、柏木先生は生徒たちに十五年後の自分に手紙を書く課題を出します。誰にも言えない秘密や悩みを抱えながらも、仲間とともにさまざまな葛藤を乗り越えて前に進んでいく生徒の姿に心を強く打たれました。

私も中学生のとき「手紙～拝啓十五の君へ～」を歌ったことがあり、その力強い歌詞に何度も励まされました。

この本は新垣結衣さん主演で映画化もされました。

読書ポイントをたくさん貯めようと何気なく借りた一冊でしたが、とても感動しました。ポイントが貯まるこの機会に、たくさんの本との出会いを楽しみましょう。



Inside story

宮教大図書館の裏話

うらばなし

宮城教育大学の方はログイン▼

宮教図書館ではいったいどのような業務が行われているのでしょうか？ その一部をつぶやきます！

最終話

みんなでつくる図書館へ

雑誌購入担当 S



図書館には2ヶ所、新着雑誌コーナーがあります。1ヶ所目が1階スパイラル・ラボの近くにあるコーナー。ここには「S-style」や「音楽の友」といった娯楽系の雑誌が並んでいます。2カ所目は2階、階段登って目の前のコーナー。ここでは、「月刊教育ジャーナル」や「数学セミナー」といった学術雑誌が置いてあります。

図書館では、3年毎にみなさんの意見を取り入れながら、購入する雑誌の見直しを行っています。今回は、昨年11月に実施した、1階新着コーナーに置く一般雑誌の選定についてお話しします。

■新規購読希望雑誌の募集

まず、新たに図書館に置いて欲しい雑誌の希望を募ります。今回は12タイトルの雑誌の希望が寄せられました。ファッション雑誌やビジネス誌、健康雑誌とジャンルも様々です。

■雑誌の人気投票

新規購読希望タイトルが集まったところで、購読中の雑誌とともに人気投票

を行います。どの雑誌の人気があるのか、こちらワクワクしながら投票を見守ります。2週間て420票とたくさんの方にご協力いただきました。

■購読雑誌の決定

投票結果をもとに、予算や分野のバランス、内容等から、購読を中止する雑誌と新規購読する雑誌を決めます。

今回は「ディズニーファン」(修学旅行の引率の際に役立つかも?)と「プレジデント」を新たに購入することになりました。4月から1階新着雑誌コーナーに並び始めますので、どうぞお楽しみに！

また、3月をもって、「群像」「別冊文藝春秋」「Grand opera」の購読を終了します。

ご協力いただき、ありがとうございました。



「ディズニーファン」2015年3月号(講談社)

図書購入担当 M



図書館には児童書がたくさんあり、子育て世代の私にはとてもうれしい環境です。将来先生になる学生がたくさん本に触れて、ゲームやスマホ世代の子どもたちに本の素晴らしさを伝え、子どもたちが本に興味を持ってもらえたらうれしいなと願いながら、日々業務をしています。そんななか、附属図書館員について感じたことをお話しします。

事務系職員である私が初めて図書館に異動になって早1年と半年。図書系職員のみなさんの多能さに驚きました。

私が異動した当時のOさんは情報リテラシー本「エール」を執筆しました。学術情報管理係長と情報サービス係長は日々の業務の他に授業を担当しています。サービス係員のIさんは、ホームページを自分でリニューアルし、同僚のSさんはプロのデザイナー顔負けのデザインをします。学術情報管理係のAさんは、この「こもれび」を格好良く編集しています。図書館職員は女性が多いです

が、実はたくさんある力仕事を団結してこなします。

私が宮教に異動してから開始された企画もたくさんあります。構想したことを職員一丸となって次々と実現していきます。まさに、今までの慣習にとらわれず、新しいことにチャレンジしていく姿勢が図書館にはあります。

そんな素晴らしい職員の提供する居心地の良い空間にみなさんは是非足をお運びください。



平成27年度 図書館開館カレンダー

通常開館 月曜日～金曜日 9:00～22:00

開館 土曜日・日曜日 10:00～17:00

開館 休業期間の月曜日～金曜日 9:00～17:00

休館日 国民の祝日・本学創立記念日(10/18)など

休館日(祝日)

- 4月29日 昭和の日
- 5月3日 憲法記念日
- 5月4日 みどりの日
- 5月5日 こどもの日
- 5月6日 振替休日
- 7月20日 海の日
- 9月21日 敬老の日
- 9月22日 国民の祝日
- 9月23日 秋分の日
- 10月12日 体育の日
- 11月3日 文化の日
- 11月23日 勤労感謝の日
- 12月23日 天皇誕生日
- 1月11日 成人の日
- 2月11日 建国記念の日
- 3月20日 春分の日
- 3月21日 振替休日

休館日(入試・その他)

- 10月10日 大学院・教職大学院入試
- 10月18日 本学創立記念日
- 11月21日 推薦入試
- 11月22日 推薦入試
- 12月12日 教職大学院入試
- 12月29日～1月3日 年末年始
- 1月16日 センター試験
- 1月17日 センター試験
- 2月6日 私費外国人入試
- 2月25日 前期日程試験
- 2月26日 前期日程試験
- 3月12日 後期日程試験
- 3月25日 学位記授与式
- 冬季休業・春季休業期間中の土日

平成27年4月							平成27年5月							平成27年6月							平成27年7月							平成27年8月							平成27年9月																																									
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																																			
6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				

※13日前後に一斉休業予定



宮城教育大学附属図書館

こもれび No.127

【編集発行】 宮城教育大学附属図書館 運営委員会

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149

TEL:022-214-3350

E-mail:toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

附属図書館オフィシャルサイト

http://library.miyakyo-u.ac.jp/



このパンフレットは環境に配慮した「水なし印刷」により印刷しております。



環境にやさしい植物油インク「VEGETABLE OIL INK」で印刷しております。